

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第13号

福山市身連通信

2014 (H. 26) 年7月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 ☎ FAX 084-983-2411

目 次

福山市身連 総会開催	1
福山市身連 総会続き	2
相談協 研修会開催	3
全国大会 (しまね大会)	4
全国大会 続き	5
新五千円札 発行	6
障害者陸上競技大会	
広島県身連 総会開催	
市身連 福山市と面談	
相談員協議会 役員会	
募金のお願い	
編集委員会より	

NPO法人 福山市身連

平成二十五年度通常総会 開催

ゴールデンウィーク明けの五月八日、福山市身連は新年度を迎えての総会を、福山市市民参画センターで開催致しました。従来年度当初のこの総会は二十六年度総会としていましたが、法人となったことで、今回から二十五年度締めめの総会とする旨発言され、当日正会員六十人のうち五十二人（委任十五人含）の出席があり、総会として成立しました。

開催の挨拶

前川 昭夫 理事長

新年度を迎えての挨拶は前理事会で言われた事と重なりますが、要約して記載します。

□ 二十五年度は市身連の法人移行のための一年であったと思う。

□ 法人体制の期間は九月以降の半年の中で「ふれあいサロン」の自主事業をしたが、このような事で実力をつけていきたい。

□ 福山市の協力を得て新たな事務所を設ける事が出来そうでここを拠点に新たに収入を伴う事業を

出来る様この一年いろんな方面に働きかけそのきっかけを作りたい。

□ あと一年の任期をしっかりと任務を果たしていく所存です。

□ その他に先人の頑張られてきた連合会の歴史にも触れられ、一般的な活動への発言もされて、今年度法人としての活動に会員皆様の協力を要請されて、挨拶とされました。

＊ この挨拶のあと、議長を選任し議事に入りました。

総会の議事 要約

1～7

1、議長選出

総会の議長については規定が示されていないので事務局長でと提案されたが、執行部が議長はおかしいと発言があり、相談役の江草理事にお願いし、承認。

2、議事録署名人選任

理事会で慣例となっている順番と同様に、その順で、根本敏太郎理事と、門田潤美理事を選任。

3、前年度報告

事業報告については年度初めから、法人化後にかけて一年間の行事について活動の報告をして、決算については旧連合会会計を年度途中で閉めて法人に引き継いでおり、その後の決算、貸借対照表や財産目録等の資料を示し説明し監査報告へ進みました。

4、監査報告

当日出席の鴨田弘道監事より、四月十四日、事務所において馬場朝則監事と共に監査し、全て適正に処理されていることを報告がされました。

＊ここでそれぞれの報告について質問を受けますと議長からありましたが、問題になる点はなく、了承されました。

5、新年度計画・予算

事業計画案としては、法人として県に提出している事業案をほぼそのまま、五つの部門別に事業内容を具体性を持たせ提案しました。

それに伴う予算については、当初いろいろな案が出ていましたが、連合会として今年度きまった収入は会費と市の補助金のみで、事務所移転の経費も見込まれることもあり、各部門で平均10万円程の予算を組むことが精一杯と事務局から説明されその中の活動となる見込みです。

（次ページに続く）

(前ページ記事の続き)

6、新年度役員体制

本来今年度は役員改選の年ではありませんので、欠員となった役員の補充のみ行われました。

渡部副理事長の死去によって空席の理事には同じ神辺協会の後任会長の田上敬二氏が就任し、監事を降りた馬場氏の後任は同じく神辺協会の園生浩治氏が就任となりました。



7、連合会運営関係

新年度ということで改めて、連合会運営規約を出席者に配り、実際の活動での疑問点があればと、意見を求め、一、二質問がありました。

第4章の総会に2年続いて欠席等で表決に参加のない人の失格について、厳しいのではと質問がありました。理事会にはかつて決定となっており、今後多少検討することになりました。

＊総会の議事は、これで終了となりいくつか連絡事項があって、日程を終え新年度のスタート体制が出来た事になりました。

この日は各協会が残らず参加される事が確実なので、会報の印刷を間に合わせてもらい12号を配布できました。

今年の総会は希望者に弁当（実費500円）を用意する事になっていて注文者は食べたり、持ち帰って散会となりました。

福山市障がい者相談員協議会

平成二十五年度 研修会開催

時 平成二十六年四月二十八日
所 福山市市民参画センター

福山市障がい者相談員協議会は特に身体部の部として二十五年度自らの企画する研修会が開催できて

れでも三十五名ほどの参加者が受講して行われました。

なく、新年を迎えて年度末までに研修会を予定していましたが、連合会が法人化し、年度替わりの事務処理等がこれまでのように簡単でないこともあって、ほとんど同じ執行部なので年度内にはできませんでした。

今回は2012年施行になった障害者虐待防止法を再度テーマとして福山市社会福祉協議会の守山氏に講師をお願いして、施行されたからの現状や、福山近辺で起こった事件等の報道などの資料を元に講義を受けました。

執行部から四月に入ったがとにかく二十五年度の研修会をやりたいと提案されて、相談員の委任期間が終わっているが、次期の相談員の予定者を対象として開催しました。

虐待というテーマは障害者に限らず、子供、高齢者、女性等にも当てはまることですが、そのこと自体が家庭内や、事業所などの内部で起きるので見かけること、事情を知ることの難しい事が実情であり、対応の悩ましさを残る事案であることになりました。勉強して即分かりましたとは行かないようです。

日程がゴールデンウィークの頭で、しかも今年は相談員の更新年で、更新者の推薦中でしたので、出席者数が気になりましたが、そ

第五十九回

日身体障害者福祉大会 しまね大会へ

日時 平成二十六年五月二十二～二十三日
会場 島根県立産業交流館（くにびきメッセ）

まずは前日観光へ

昨年は北海道での開催となったこの全国大会は今年、約二十年ぶりに中国地方で島根県での開催となり、前年の遠方で日程の長かった大会参加とは打って変わって、昨年高知での中・四国大会と全く同等の行程や人数での参加となりました。

福山市身連は、例年通り西部観光バスでの福山仕立てのツアーを組み、今年度秋の中・四国大会が中止になっており、多数の参加者を予定して募集しましたが、参加されるのは常連の人に限られ、昨年の高知行と全く同人数での参加となりました。

大会前日の二十二日、新市から出発したバスは、市内の参加者を拾って福山西インターから高速のり世羅、三次を通り島根へと走り、ほぼ予定通り出雲市へ着き、出雲大社の門前で昼食をとりました。ここで前日から他の行事等で島根入りしていた、前川理事長と藤井事務局長が合流し、食事後本殿などの工事が出来てカバーが取り払われてきれいになった出雲大社をガイドさんに説明を受けながら見物しました。この時ガイドさんから聞いた大社の宮司さんは千家（せんげ）さんで代々続いている

などのお話を聞きましたが、その若宮司が、旅行から帰って宮家のお嬢様とご婚約と報道をされ何か身近な人のように思われました。大社を出て、コースにはまっている島根ワイナリーにより、ワインを試飲し何人も好みのワインを買った人もいて、そこから今度はフォアゲルパークへと向かいました。

到着するとちようどふくろうの飛行を見せるショータイムに間に合うということで急いで会場に行き見物出来ました。女性トレーナーの指示でお客の持たされているリングの中を通過して帰るなどのショーマをみて、そのあとは小型のふくろうを手に乗せて写真を撮るのを200円という有料でやっておりました。この特大の温室というような園内はいろんな花でいっぱいでしたが、外ではリフトのような乗り物で山頂の展望台へ登り、見物しながら下ってくるコースがありました。足の弱い人が多くほとんどの人が早めにバスに帰り、人員が揃うと早々に次の観光の松江城の堀川めぐりへと向かいました。以前大会が松江であった時、乗ったことのある遊覧船ですが、前の

時大会前に慌ただしく観光を済ませて大会会場へ行かないとならないため、ゆっくりと出来ませんでした。今回はこのあと宿に入るだけなのでゆったりと両岸の新緑などをしながら、船遊びを楽しむ事が出来ました。

ホテルは今回ベッドの部屋を希望した事で、結局ビジネスホテルで全員シングル個室に宿泊となり、夕食は団体のみ全員で出来ました。がカラオケ等を楽しむ事はできず

（次ページに続く）



(前ページ記事の続き)

それを望む人は街へどうぞということでしたが、団体で出ていくことはありませんでした。

福祉大会 会場へ

大会当日は宿泊が米子市になったため、朝八時半には出発して松江市のくにびきメッセへと向かいました。

大会は先ず鎌刈大会副会長の力強い開会宣言から始まり、いつもどおり、国歌斉唱、物故者に黙祷あいさつがあつて、表彰式になり全国から選ばれた五〇名に及ぶ方が表彰されました。その中に広島県、広島市からもそれぞれ各一名の方が選ばれておりました。

来賓紹介後、小休憩のあと、議事に入り昨年の事業報告の概略と新年度の事業計画の基本方針が説明され、そのほかに、前日ホテル一畑で行われた、障害者権利条約関連のシンポジウムの報告などが了承されました。

それから大会宣言として、障害者権利条約に基づく国内各法律の成立は大きな喜びであるが、これ



が本場に社会に受け入れられることを願う案が提案され、また大会決議として権利条約にふさわしい法整備や、個人情報のある方、相談員に関する件等四項目の提案がされて、共に採択されて議事を終りました。

ここで神話のくに、出雲らしく神楽のアトラクションとなり、石見神楽の代表的演目の八岐大蛇が演じられ、勇壮な舞台が繰り広げ

られました。

神楽は広島県北でも盛んに伝承されていますが、共に本場物という感がありました。

最後に大会冊子に載っていないかった来年度の開催県からの挨拶になり、宮崎県で来年五月二十五・二十六日の予定で開催に決定と案内がありました。

大会終了でこの旅のメイン行事を終わり、バスの乗車順を待つて宍道湖しじみ館へ行き、昼食をとりました。この旅の食事にはもれなく小さくてもシジミの味噌汁がついていました。

そこで、次に寄った境港さかなセンターでお土産を選び、一路帰途につきました。

今回の行程は、行きの人権センターで少々遅れた以外は、福山に帰り着くまでほぼ予定通りに到着でき、日の照っているうちに福山駅に帰り着きました。

今回のツアーは洋室シングルのみの宿泊で、寝起きがベッドで、いびきと共に心配要らないのは好評でしたが、反面、仲間同士で部屋でのおしゃべりや、カラオケもなかったことなど、せっかくの旅

行なのに少し物足りなかったとの意見もでて、今後個室のみの旅行などについて再考の余地がありそうです。

お札の区別をしやすく 新5千円札 発行

財務省は手触りでほかの紙幣との違いを判別しやすくするため、5千円札を改良して他の金額との判別をしやすくしました。

変更したのは紙幣表面左下に貼っている「ホログラム」の透明シールで、5千円札は今の楕円形から四角形に変えて、大きさも1・7倍にし、5千円と1万円の区別をはっきりとさせる事になりました。

視覚障害者等から出ていた変更を求める声に答えるかたちの対応で、今まで偽造防止のための改良はありましたが、識別のための変更は初めてということでした。

今年度3億8千万枚発行予定ですが、改良前の札も流通していますので、簡単に良くなったとは言えませんが、視覚障害に対する認識が一步進んだようです。

好天に熱戦の競技者

第八回 広島県障害者陸上競技大会

東広島運動公園陸上競技場

月初めの天気予報からずっと雨という予報で心配していた東広島での障害者陸上競技大会は、五月十一日絶好の五月晴れで、さわやかなスポーツ日和のなかで行われました。

今年の福山からの参加者は、選手も昨年に比べると少なく、応援の参加者も直前の事情もあって減ったこともあり、予定していた大型バスを中型バスに変えての参加となりました。

そのせいでもないでしょうが、行き帰りは定刻通り余裕をもって到着し、朝会場の入口で新しく県身連の事務局長に就任した、小畑氏とも挨拶を交わすこともできました。

ここでの大会は毎年体育協会やいくつかの大学等のボランティアの支えを受けて、天気の良い割に意外と暑くなく、風も爽やかで、

競技

応援する観客席も昨年にくらべてザワつきや奇声を発することも少なく、落ち着いて応援できました。例によって福山からは、北部発のバスで出発し、最初に乘られる人たちは本当に早朝からの日程でお疲れ様でしたが、参加の皆さんの日頃のおこないの良さで天気心配の全く要らない一日でした。

今年も長崎身障国体に福山から選手が選ばれれば嬉しいことなのですが・・・。

平成二十六年 第二回

広島県身連 総会開催

広島県社会福祉会館

県身連の新年度総会が、県内各地の加盟団体の会員代表（三十一名中二二名出席）を集めて、五月二十八日広島市の県社会福祉会館でありました。

総会は鎌刈会長の所信表明とも言うべき挨拶があつて、議長に大崎上島の河本氏を選出して、議事の平成二十五年度事業報告や決算報告が提出されて、それについて

の質疑で決算総額は大変大きい、県からの委託事業をその専門的団体への橋渡しの立場でほとんど県身連を通過する金額である等の説明で承認され、次に役員等に対する慶弔規定を定めることを承認、そしてあいサポート運動について

の案で、県は鳥取から言われてやりましようと言いに始めましたが県身連は一昨年これを討議し、当事者としては適当な事で済ますわけに行かないと見合わせていたが、本気の取り組み時期が来ているとして対応を全面的に検討し会員に計っていく用意をするようです。又、募集中のハワイ旅行の応募状態の報告で、仮申込二名を含めて二九名の参加予定でなおまだ席があるので七月も追加募集の予定だそうです。

市身連 市と面談

連合会活動への対応が年々変わっている事で、5月16日市役所会議室で福祉事務所と話会しました。事務所から、来山課長と小川次長が対応され、市身連は理事長以下幹部10名程が出席し用意した六項目の件について、先ずは今回用意してもらえ事務所の御礼を述べて、今収入のない中、事務専従者なしで事務連絡に協力や、以前あった補助の立ち消えなど、担当が変わるたびに行政サービスの低下と考えることなど思いを述べ要望に即回答はありませんが、認識のギャップを少しは埋められたかと思えます。

福山市障がい者相談協議会

役員会 開催

福山市市民参画センター

福山市の障がい者相談員に対する研修会の日程が決定されたことを受けて、相談員協議会も同日新

年度総会を開催の準備をするべく役員会と会計監査を行います

障害者活動にご寄付のお願い

私達NPO法人 福山市身体障害者団体連合会は障害者自身の福祉のためや、障害者の生活の向上、障害者の社会参加のための活動をしています。しかし、団体の活動費、特定の事業資金等の収入はなく厳しい状況のなかがんばっています。皆様方にぜひ当連合会に、香典返し等のご寄付をいただけますようお願いいたします。

お申し出いただく時はNPO法人福山市身連 加入の11の福祉協会を通じてか、または連合会事務局へご連絡いただければ幸いです。

特定非営利活動法人

福山市身体障害者団体連合会

住所 福山市霞町1-6 中央ビル 2F

7月から佐波町人権交流センター移転予定

電話 084-983-2411

時進行で会計監査を行い、総会に備えました。

資料の序文については誤変換の訂正のみですが、決算報告、予算案についてはいくつかの指摘や質問があり、多少の補正で提出OKとし、事業報告の行動日誌等はその後で事務局がきっちり作成するとし、そのほかに協議会の要である規約が、改正点がそのままであったり、規約どおりの活動になっていない点を是正のため、正しいものを総会で会員に配布することや、役員についても規約では総会で決定となっております、毎年のように総会になって、事務局一任ではなくそれまでに役員候補を出せる状態

編集委員会より

今回の13号をお届けする頃は連合会事務局が人権センターに移転しているかと思いますが、連合会の環境が変わりつつある今、市身連通信も少し変えていきたいと思っています。

現在義倉に対しホームページ開設の補助を申請していますが、もし認められれば、即開設の準備に

にするべく、今年度全役員の改選年ではないとしていますので、退任者の補充者の人選をしました。

これらを踏まえて事務局で総会に間に合うよう資料を作成されます。

以前少なくとも二期前までは市は相談員の更新をした場合、先ず委託状と証明証等を郵送して決定されたことを知らせた後、研修会の案内が届いていましたが、今回もそれはなしで研修会の案内がきています。それによると六月二十日すこやかセンターで開催となっております。

決定された名簿等は次号で載せる予定です。

入り事務所の移転に合わせ、広報も変えていければと勝手に思っています。

移転すれば当初事務手続き、事務室の整備等一時間有り、広報関係はその後のこととなりますが、ホームページが出来れば広報の主流と考えますので、今回会報の頁数を少し減らしてみ、これで会報の役目が出来ていれば、今後そのままでもいいと思います。